

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

## 京都丹後地方で有機栽培される牛蒡と金時人参を用いた野菜の加工商品の開発と販売

京都丹後の有機JAS認定農場で栽培する牛蒡と金時人参を用い、安心安全を訴求すると共に味・香りや食感を活かしたドレッシング、野菜スイーツ、弁当・惣菜を開発して、直営店、協業企業、スーパー、百貨店等の各販路を通じて需要拡大する。

### 連携体

農林漁業者

梅本農場（農業）

有機JAS認定の栽培技術に自然農法栽培技術も取入れ、新たに牛蒡を生産するとともに金時人参の増産に取り組む。

中小企業者

(有)ドン（飲食料品小売業）

牛蒡と金時人参を活用したドレッシング、野菜スイーツ、弁当・惣菜を開発し、直営店や協業企業等で販路拡大する。

連携参加者

(有)京野菜村（飲食料品小売業）、京丹後市有機農業推進協議会（農業）、エコパッケージ(株)、(株)フーズフロンティア(以上、複合サービス事業)

野菜栽培の支援、商品販売の販路拡大支援、流通業務支援等を通じて、農林漁業者と中小企業者を支援する。

サポート機関等

長岡京市商工会、地域活性化支援事務局

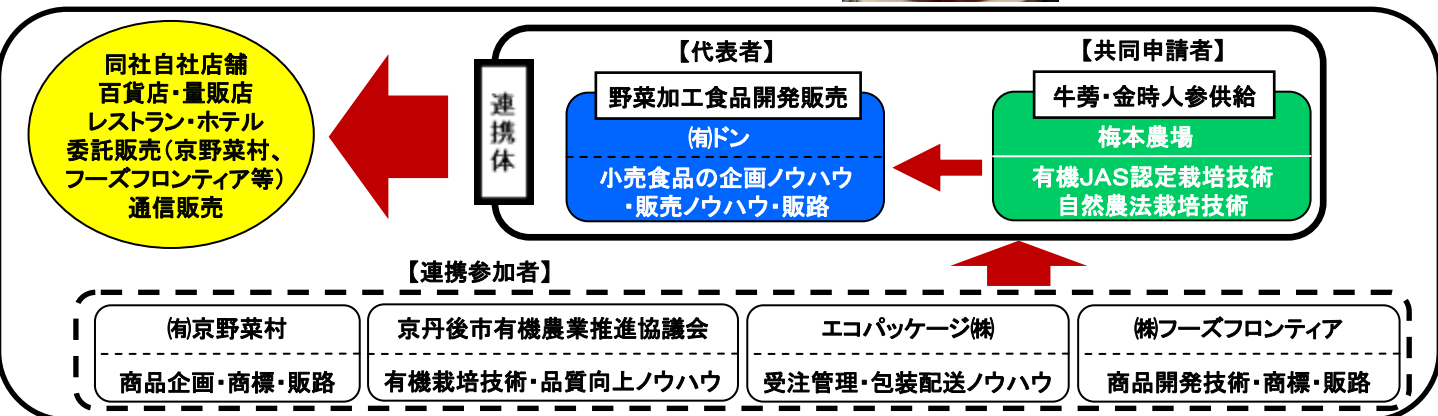
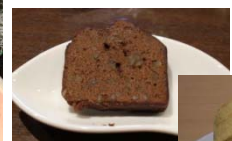
### 連携の経緯

(有)ドンは、本商品開発に際して味と香りが大変際立つ安心安全な牛蒡と金時人参を必要とし、その連携農業者は、植物残渣の有機栽培、京都産で味の評価が高い野菜生産、相互信頼構築可能、農業が事業として成立、生産量確保可能、等の要件を満たす必要があった。同要件を満たすのは梅本農場以外になく、(有)ドンから協力を依頼して連携に至った。



### 連携に当たっての課題や工夫等

連携に当たって、梅本農場の安心安全な野菜の増産と、(有)ドンの特徴ある商品開発及び販路拡大が課題である。梅本農場は、牛蒡栽培で自然栽培技術を取り入れながら増産し、金時人参は新たに有機栽培用土壌改良剤を用いて生産拡大する。(有)ドンは、味と香りの特徴を活かした各新商品を開発して製造販売し、販売促進で直営店や協業各企業を有効活用するとともに、ネットワークを有する販路も活用して需要拡大する。



### 連携による効果

農林漁業者

売上高440万円の売上高増加、梅本農場の野菜ブランド向上、地元雇用1名の増加

安定取引で経営が向上し、(有)ドンの新商品へ食材履歴を記載することで農業者ブランド力向上の相乗効果も期待される。

中小企業者

売上高4,990万円の売上高増加、地元雇用10名の増加、栽培履歴ビジネスの確立

京都産有機栽培野菜を用いた商品を順次開発し、栽培履歴を訴求して差別化する商品力の強化と販路拡大が期待される。

### 代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社ドン  
TEL：075-344-0006  
E-mail：don-group@k6.dion.ne.jp

所在地：京都府京都市下京区室町四条下ル鶏鉾町501  
FAX：075-415-8788  
ホームページ：-